

県原発訓練 16日に

高浜事故想定 住民避難は別途

県は、高浜原発の事故を想定した「県原子力防災訓練」を16日に実施する。安定ヨウ素剤の配布やスクリーニングなど、関係機関職員の訓練が中心で、住民避難を伴う訓練は京都府や滋賀県と広域避難計画の調整がついてから実施する。

国や県、市町、原子力事業者、自衛隊、警察など約90機関から約500人が参加。内容は①最初対応訓練②安定ヨウ素剤の緊急時配布訓練③スクリーニング

・除染訓練④緊急時モニタリング訓練の4種類。

最初動訓練は高浜原子力防災センターなど、安定ヨウ素剤の配布訓練はおおい町総合市民センターと若狭町役場上中庁舎の駐車場、スクリーニング・除染は、小浜市総合運動場とサンドーム福井の駐車場。緊急モニタリング訓練は、3月に県が整備したモニタリング情報共有システムを活用し、データを自動送信して情報収集する。(堀川敬部)